



ケーススタディ

## ヒューマンアカデミー 株式会社様導入事例

オンライン授業の次のステップとして、Zoom Roomsで教室と自宅からの双方の受講生と都心部の講師をつなぎ、ハイブリッド授業の運営を自動化したヒューマンアカデミーの活用事例

### 本文

ヒューマンアカデミーは、1985年の創設以来、未就学児童から中高生・大学生・社会人・シニア層とあらゆるライフステージにあわせて学びと成長を支援するリカレント教育を推進し、時代や社会の変化にあわせながら800以上の講座を編成し、学びを提供しています。

同アカデミーの社会人向け教育事業部においては、2020年4月の緊急事態宣言後、コロナ禍における授業の継続を目指し、まずZoom Meetingsを導入し、オンライン授業を開始しました。その後、新型コロナウイルス流行の状況が変化していく中で、受講生が個人宅からオンライン授業に参加するだけでなく、各校舎の教室からの受講生も同時に参加できるようなハイブリッドの授業「オンラインライブ授業」を実現すべく、検討をはじめました。

「全国23校舎※の教室に大画面を設置してのオンラインライブ授業を計画していたため、いかに受講生の工数を減らすことができるかが重要なポイントでした。いくつかのツールを検討する中で、既にオンライン授業で使用していたZoomでもそのような会議システムが活用できるということで検討を始めました」と、当時の状況について、ヒューマンアカデミー 管理本部IT企画推進室 西山 夕美子氏は、語っています。

### 課題

オンラインライブ授業については、各校舎に先生を派遣するのではなく、都心部から生放送で授業を配信し、全国の校舎の教室からの受講生と自宅から出席する受講生が同時に参加できる形を目指していました。このため、「各校舎の教室に先生がいないため、ログインは受講生に任せることとなります。今回の要件としては、受講生の工数を極力減らし、URLやパスワードを入れなくとも、参加ボタンを押したらワンタッチで入れたり、時間が来たら自動的に授業を開始できたりするようなツールを中心に探しました」と管理本部IT企画推進室 後藤慎氏は、話しています。

また、リアルタイムに授業を行うため、どこかの校舎だけが途中で途切れてしまうことが無いように、通信の安定性も重要でした。

運営側の負担の軽減も課題となりました。「通常のZoom Meetingsの場



### ヒューマンアカデミー

創立 1985年

所在地 東京都新宿区を含む全23箇所※

業界 教育

課題 ハイブリッド授業のスムーズな運営、受講生・講師・運営の3者の負担軽減、通信の安定性

導入ソリューション Zoom Meetings、Zoom Rooms

成果 教室から参加の受講生を自動的に授業に接続、トラブルのない安定した接続性の維持、都心部の講師による授業の全国展開、ダッシュボードによる授業出席率の把握

### 引用コメント

「Zoom Roomsの導入により、受講生と先生、運営側の3者の負担が軽減されました。接続のミスも起こりませんので、違う授業に入ってしまうようなこともありません。開講時に講座の設定をするだけで、番組表の設定などを都度する必要もなく授業を運営できるので、とてもシンプルな形になりました」

(西山氏)

合、授業ごとにURLが必要となります。各校舎で朝昼夜と授業が開催されるなか、URLをどのようにシェアし、クリックしてもらうかという途方もない工程が発生することを懸念して、ツールを探しました。また、同時帯に複数の教室から接続しなければならないとなると、その接続をどのように行うかが一番の課題でした。」(西山氏)

検証の結果、通信の安定性と各授業に自動的に接続できる簡便さから、Zoom Roomsの導入が決定しました。2021年4月には、Zoom Roomsを77アカウント導入し、23校舎(2021年5月末時点)でオンラインライブ授業を開始しました。

### 導入の成果

導入後は、各教室からの受講生が特に操作をしなくとも、時間になったら自動的にZoom Roomsが起動するという設定を行なっています。具体的には、教室の前方に大画面が設置されていて、10分前からカウンドアウンが行われます。授業を設定する際に、Google カレンダーに、運営側でZoom Roomsに必要なアカウントを入れることにより、受講生は何も操作することがなく参加でき、授業終了後も自動的に画面から退出できるようになっています。

「これにより、受講生と先生、運営側の3者の負担が軽減されました。接続のミスも起こりませんので、違う授業に入ってしまうようなこともありません。開講時に講座の設定をするだけで、番組表の設定などを都度する必要もなく授業を運営できるので、とてもシンプルな形になりました。すでに、Zoom Meetingsも使っていたので、ある程度操作に関してイメージが湧きやすい点も助かっています。」(西山氏)

さらに、授業終了後には、ZoomRoomsで参加している受講生を自動的にカウントしてダッシュボードにその数を表示する機能があるため、「本社にしながら、座席数に対する利用率が確認できるようになり、使い勝手が良いと感じています。」(西山氏)

オンラインライブ授業の実現については、「ヒューマンアカデミーには、Education(教育)とentertainment(楽しみや喜び)を融合した『“学びは面白い” Edutainment Company』をスローガンに、時代や社会の変化に合わせて、学びの面白さを創造するあらゆるジャンルの講座を展開しています。これまで、例えば沖縄の離島の方はなかなか参加できず、通信講座として収録を利用した一方通行の形態でしか授業を受けることはできませんでした。これが、場所を問わず受講できるようになり、また、優秀な講師の授業を地方でも都心部でも関係なく提供できる機会が増加したことは、当社にとって大きな意味を持っています。」(西山氏)

### 今後の展望

ヒューマンアカデミーでは、この4月からオンラインライブ授業を開始したため、現在はまだ最小の必要数を実施していますが、今後もさらに同形式の講座を増やすことを計画しています。オンラインライブ授業の進め方について、「今後は、さらにコミュニケーションのあり方を模索していきたいです。教室で参加している受講生から質問がある場合、タブレットのリモコンで挙手できる操作を使って中央の先生に知らせるという形を今は取っています。しかし、今後、より人数が多くなった場合にどのように運営するかという点は課題です。Zoomの機能拡張で、顔認識により、教室で参加している受講生を分割して画面に表示する機能が将来的に実現することなので、こちらに期待しています。」(西山氏)

また、「人生100年時代と言われ、世界的にも「生涯にわたる学習(リカレント教育)」の重要性が注目されている今、オンラインで海外からの受講生も少しずつ増えていますので、このような機会が展開できることもポイントです。オンラインライブ授業により、自宅からでも教室にいる仲間と一緒に参加できますので、様々な受講の仕方を、Zoomのようなツールを使って、自由に発想しながら提供できるようになりました。」(西山氏)

※2021年5月末時点

Zoomは、企業や組織がストレスのないビデオ環境でチームを1つにまとめ、より大きな成果を挙げられるよう支援します。ビデオ会議や音声による通話、ウェビナー、コンテンツ共有、チャット機能を統合した簡単で信頼できる当社のビデオ中心のユニファイドコミュニケーションプラットフォームは、モバイル端末やデスクトップパソコン、電話、ルームシステムで利用できます。Zoom Video Communications, Incは2011年創業、米NASDAQに上場している株式公開企業で(ティッカーシンボル:ZM)、本社は米国カリフォルニア州サンノゼにあります。詳細はzoom.comをご覧ください。Twitterでのフォローもお待ちしております(@zoom\_us)。